

【Dysphasia in Parkinson's Disease】

パーキンソン病における嚥下障害では、先行研究で下記のような報告がなされております。

PDの**最も多い死亡原因は誤嚥性肺炎**である。

PDでは不顕性誤嚥のリスクが高い。

PDの病期進行中に**約80%の患者が何らかの嚥下障害**を発症する。

PDの重症度と嚥下障害の重症度は必ずしも相関関係に無い。



前述のようにPDではかなり早い段階から、嚥下機能低下の予兆が見られます。SSPDでは特に**生命に関わる嚥下機能低下の防止**を重要項目に定めており、**言語聴覚士による初期評価→最低3ヵ月に1回程度の再評価を推奨**しております。これにより準備期～口腔期～咽頭期への進行を出来る限り抑制し、必要に応じて嚥下リハビリテーションの指導や食事形態の相談を看護師と協力して行います。